

酔いどれ 取材メモ

なったような気がしていたが、それは認識違いだった。

3月17日、東関東自動車道を逆走するクルマを運転していたのは、25歳のヨッピー男だった。飲んだら乗るなほジョーシキだろ。

呆れて開いた口が塞がらないが、まずは遡って正月から見ていこう。また松の内の1月4日、JR三ノ宮駅で事件が起きた。その夜11時半過ぎ、下り電車を待っていた大学生を線路に突き落とした27歳の自営業者が逮捕された。大学生は自らホームに這い上がり無事だった。酔った自営業者が大学生と肩がぶつかったと腹をたてての凶行だった。

6日早朝、札幌の航空自衛隊の20歳の1等空士は、休暇中で、前夜から同僚と飲んでたという。夜も明けんとする頃なぜか雑居ビル6階の飲んでた店と違う飲食店のドアを壊して入り込み、建造物侵入容疑で現行犯逮捕された。「酔っていて覚えていない」というが、ハンゴ酒だとは言わせない。

毎年新成人による飲酒事件が勃発する成人の日。今年は晴れ着のレンタル事件の陰に隠れ、酒トラブルの印象が薄い。改造車を乗り回して逮捕されたバカはいたが、昨年逮捕者を出したつくば市も、荒れる式典が風物詩の沖縄でも静か。大人たちによる、厳戒態勢の賜物だと思ったら、いたいた、川崎におマヌケな新成人が。酔って成人式会場近くの公園で騒音測定器を破壊したんだと。

若者に負けし(?)と、いい大人も酔った勢いで騒ぎ出す。犬山市の68歳のとつっあんは交番

の窓ガラスに三角コーンを叩きつけて逮捕され、足立区の40歳のオトコはカラオケ店で若い女性客の体を触り御用。千葉の34歳会社員はタクシীর無賃乗車を逃れようとして運転手に暴行し逃走。結局はドライブレコーダーの映像から強盗致傷の疑いで逮捕された。

タクシীর事件といえは、忘れてはならないのが、元豪州代表で日本のトップリーグで活躍中のラグーマンが運転手に暴行して料金を踏み倒して御用となった一件。結局は不起訴処分になったが、MVPにも選ばれたトップ選手だけに報道の扱いは大きかった。

お次は愛知県大府市。83歳の年老いた実母と2人暮らしをしていた59歳の息子が逮捕された。1月18日のことだ。酒に酔ったいい年こいた息子が何に苛ついたのか、酔って母の顔を殴り1週間のケガを負わせた。

奈良市の43歳の市職員による万引き事件は、非常にセコく、馬鹿げた事件だ。この職員は市内のコンビニでタブレット菓子1点を盗んだ疑いで逮捕されたのだ。被害額300円。「酒に酔って悪ふざけでやってしまった」と釈明するが、停職3か月!

仙台市の市営体育館館長を務めた公益財団の女性幹部が懲戒解雇処分を喰らったのは、酔っ払い運転の上、歩道上の道路標識に衝突、



イラスト：菊峰志麻

道交法違反で逮捕されたからだ。

呆れた大人が多いが、坊主までも酔っぱらい運転で事故を起こした。愛知県一宮市の67歳の僧侶は、酔って軽自動車運転。なんと交番目の前の交差点で、縁石に乗り上げ即逮捕。

野球漫画「ドカベン」ファンにとっては悲しくも腹立たしい事件が起きた。50歳の酔っぱらいが、新潟市に設置されていたドカベン的人气キャラクター・岩鬼正美の銅像からトレードマークの口にくわえた葉っぱを曲げてしまった。サザエさんの父、波平さんの像の一本毛が抜かれた事件も忘れることはできないが、こちらの一件も許すことができない悪行だ。

器物破損、痴漢、暴行、今回も紙幅に収まらない事件報告がうず高く積まれている。どうか、酒を悪の道の小道具に使わないでほしい。

たいへん、たいへん。たいへんだあ。こりや、なんとかせねば……。おっと、まずは名乗らないといけないな。オレは酒匂徳利。定年間際の新聞記者だ。無類の酒好きから、徳利の徳さんと呼ばれることが多い。出世とは無縁な古いタイプのブンヤだが、なぜか愛する酒に関する事件情報は集まってくる。

のつけから騒いでしまつて申し訳ない。何がたいへんかという、この原稿を書くにあつて、取材メモを整理していたんだが、まだ3月だつていうのに、酒絡みの事件がかなり多く報告されてることが分かったんだ。夜討ち取材を終えて一杯やりながらだつたが、一気に酔いも覚めちまつた。この号がお手元に届くのはまだ先だが、3月のこの時点で一度まとめさせてくれ。それが愛する酒への恩返しだと信じているのだから……。



このところの事故の報道を見ると、どうも高齢者による操作ミスで起きた自動車事故が目立ち、酒絡みの事件、事故の露出が少なく